

# 鶴城中だより

文責 校長 船津 巧 No.16

## 子どもは山鹿の宝だ

みんなが見守り  
みんな育てる

「教育」という言葉は、明治以降に使われるようになったらしい。江戸時代までは、「養育」または「鍛育（たんにいく）」と言っていたようだ。子育てに、親の教えが大きいく関わっていたことや武術など目的の違いからであろう。

山鹿市教育大綱が制定されており、基本方針は、**命を輝かせる志を育てる** **生き抜く力を育む** である。

一人ひとりが生き生きと輝き、限らない夢を持つことや激動の21世紀を生き抜いていくための逞しさを持つことは大切である。

## 挑戦（チャレンジ）やるからには全力で

5月21日、好天に恵まれ、たくさんのお客様、保護者やご家族、地域の方々のご参列の中、体育大会を開催することができました。

44名の生徒を盛り上げようとPTA種目を増やしていただくなど、たくさんの方々の協力と努力に感謝申し上げます。

生徒たちは、テーマのご

とく、随所に全力で頑張る姿、輝いている姿を見ることができました。

「よかったあ〜」「感動したあ〜」というような言葉がたくさん聞かれたり、葉をたくさんいただきました。中には、「今年が今までの中で一番良かった」と言われた方もおられました。少ない人数ですが、みんなが一つの目標に向かって頑張ることで、素

日本一の学園都市を目指す山鹿が、日本一住んでみたいと思える都市へとつながっていくことであろう。

一方、福島県会津若松市には

**あいづっこ宣言**

一人をいたわります  
二 ありがとう  
三 ごめんなさいを言います  
四 卑怯なふるまいをしません  
五 会津を誇り年上を敬います  
六 夢に向かってがんばります

やっつてはならぬ  
やらねばならぬ  
ならぬこと  
ならぬものです

全日本学生体育連盟 会津若松市教育委員会

このような「あいづっこ宣言」があり、学校や地域の集まりで唱和されているらしい。21世紀を担う市民を育てることを、自らの課題として捉え、家庭や学校、地域が一体となり、それぞれの立場から青少年の健全育成のために行動を起こしていく「共通の指針」としているようだ。

地域住民のつながりが薄れつつある昨今、鶴城校区も例外ではないかもしれない。山鹿中との統合を控え、子どもたちを、みんな育てていくよう、より一層意識を強めたいものだ。

## この一瞬で魅せた感動



## 恒例の梅ちぎり

25日、一年生は恒例になっている梅ちぎりを実施。梅ジュースにして飲む予定です。

